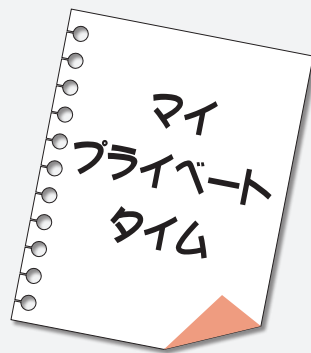


美しい自然と豊かな歴史



おおやましげき
さぬき市長(香川県) **大山茂樹**
Shigeki Oyama

メモリアル・イヤ―

本年4月の市長選挙において、引き続き3期目の市政を担当させていただくことになりました。

まさに、課題山積のなかではありますが、さぬき市の歴史と伝統を守り、つなぎ、進化させるため、今後とも全力を尽して「みんなで暮らすふるさとさぬき」のまちづくりを、市民の皆さんと一緒に進捗してまいりたいと考えています。

さぬき市は、四国の香川県の東部に位置し、面積約159km²、人口約5万2000人で、平成14年4月1日に、当時の大川郡8町のうち、西部の5町が合併して誕生しました。

気候温暖で南部の山から里へ、緑の野辺から波穏やかな瀬戸内海へと多彩な自然



地域行事には積極的に参加(右から2人目)

環境に恵まれるとともに、県都高松市に隣接し、明石海峡大橋を通じて京阪神とも高速道路で結ばれるなど、交通等の利便性も高く、「さぬきうどん」だけでなく、季節に応じて山の幸、海の幸を楽しむことができます。

また、エレキテルの創業者であり、いくつもの分野で活躍した江戸中期の多才なパイオニア平賀源内の生誕地であるほか、四国霊場八十八ヶ所の上がり3ヶ寺をはじめ、3世紀後半から5世紀初頭までの約150年間に連綿と築かれた津田古墳群や四国最大の前方後円墳である富田茶臼山古墳などの多くの歴史遺産を有しています。

そして今年、さぬき市出身の故小西和衆議院議員の粘り強い活動により、「世界の宝石」とも称される瀬戸内海が昭和9年3月16日に日本初の国立公園に指定されてから80年、さらには、四国霊場が開創されてから1200年という記念すべき年に当たります。

私自身も時折、自然や歴史にふれながらウォーキングを楽しんでおり、こうした本市の美しい自然と豊かな歴史の一端を紹介したいと思います。

津田の松原と大串半島

「津田の松原」には、瀬戸内海に面した砂浜約1kmにわたり、樹齢600年の根



津田の松原(根上がり松)

上がり松を含む約3000本の黒松が群生しており、夏には、白砂青松と波穏やかな青い海の海水浴場として、県内外から多くの人が訪れています。

松林に清風が入ると、松の葉が揺れる音が、まるで琴を奏でているように聞こえることから、大正4年には、「琴林公園」の名称で県立公園に指定されるとともに、昭和31年には、「瀬戸内海国立公園」に組み込まれました。

その景観は、昭和の映画全盛期には、石原裕次郎や浅丘ルリ子などの名優と共にスクリーンに映しだされています。また、版画の棟方志功画伯や日本画の平山郁夫画伯も訪れ、「世界一の松、四国で最も素晴らしい所」と賞賛されました。

私もこの近くに住んでいます。地元の方の皆さんのボランティアによる清掃活動等に支えられ、観光はもとより、自然と親しみながらの散策など、健康や癒やしの場ともなっています。

「大串半島」は、本市北部にある瀬戸内海に突き出た半島で、古くから海上交通

の見張り場として活用され、狼煙跡などそれらに関連する多くの史蹟が残っています。

また、瀬戸内海が日本初の国立公園に指定された当時から、風光明媚な場所として認知されており、特に、身近でゆつくりと海を行き交う船の姿は、他では見ることのできない絶景となっています。もちろん、四季を通じてウォーキングを楽しむことができる場所でもあります。

これまで、四国で唯一のワイナリーや野外音楽広場テアトロン等の整備により、地域の活性化を図ってきましたが、半島全体としての取り組みが不十分であったことから、現在、民間活力と住民の皆さんのご協力で新たな試みを進めており、地元で歓迎され、持続可能な方策を見出したいと考えています。



大串半島(野外音楽広場テアトロン)

へんろ88ウォーク

「四国遍路」は、八十八ヶ寺の札所寺院と全長1400kmの遍路道で構成されており、四国4県にまたがる弘法大師(空海)ゆかりの霊場を巡拝するもので、古来より人々の往来や文化交流の舞台となり、その沿道には、数多くの石造物等の文化財が残されています。

このうち本市には、86番札所の志度寺、87番札所の長尾寺および88番札所の「結願の寺」大窪寺のほか、四国遍路の資料館ともいうべき前山おへんろ交流サロンがあり、毎年11月3日(文化の日)には、「さぬき市へんろ88ウォーク」を実施しています。このウォークの特色は、四国霊場の結願寺を目指し、深まりゆく秋の遍路道や

コースの途中にある文化財を楽しみながら、各人の健康・体力づくりとウォーキングを通じた生涯スポーツの普及や振興を目的とするものであり、毎年600人近くの人が参加しています。

コースは3コースで、来年度の後半に、世界でも類をみない「星で望遠鏡を楽しむ天体望遠鏡博物館」の開設を予定している旧多和小学校を出発し、大窪寺を目指す約5kmの「らくらくコース」、おへんろ交流サロンから約11kmの「のんびりコース」およびさぬき市役所から志度寺・長尾寺を巡る約26kmの「健脚コース」があり、私も8年前から毎年、いずれかのコースに挑戦しています。さすがに、26kmは長いと感じましたが、これまで「健脚コース」にも2度挑み、その達成感は格別でした。今後とも、自分自身の健康のバロメータにしたいと思います。

多くの皆さんが、魅力いっぱいさぬき市においていただくことを心からお待ちしています。



「へんろ88ウォーク」で参加者と完歩を誓い合う筆者(中央)



四国八十八ヶ所霊場88番札所「大窪寺」